

中高温用潜熱蓄熱技術の基礎と応用

～マイクロカプセル潜熱蓄熱材の開発とその省エネ/再エネ分野への応用を中心に～

- ◆日時: 2019年05月28日(火) 10:30～16:30
 - ◆会場: 商工情報センター(カメリアプラザ) 9F 会議室
 - ◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、昼食、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**
- ※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 北海道大学 大学院 工学研究院 准教授 博士(工学) 能村 貴宏 氏

中高温領域の蓄熱技術は再生可能エネルギーや省エネルギー分野で大きなニーズがあります。そこで本講では中高温蓄熱技術を概説するとともに、最新の研究、開発動向を具体例を挙げて詳細に説明します。さらに、中高温領域の新たな蓄熱技術基盤を開拓する可能性のあるマイクロカプセル潜熱蓄熱材の開発状況とその省エネ/再エネ分野への応用展開を詳論します。

1. 中高温蓄熱技術の必要性

- 1.1 産業排熱回収における中高温蓄熱技術の必要性
- 1.2 蓄エネルギーシステムの新たなオプションとしての中高温蓄熱技術
- 1.3 エクセルギーの視点からの蓄熱技術の検討

2. 中高温蓄熱技術の種類

- 2.1 液体顕熱蓄熱技術
- 2.2 固体顕熱蓄熱技術
- 2.3 潜熱蓄熱技術
- 2.4 化学蓄熱技術

3. 世界の中高温蓄熱技術の最新動向

- 3.1 産業排熱回収用蓄熱システム
- 3.2 太陽熱発電用蓄熱システム
- 3.3 カルノーバッテリー
- 3.4 その他(自動車用途など)

4. マイクロカプセル蓄熱材の特性とその応用

- 4.1 中高温潜熱蓄熱材料としての金属・合金の可能性
- 4.2 中高温潜熱蓄熱材のカプセル化技術の必要性とその課題
- 4.3 合金系潜熱蓄熱材のマイクロカプセル化技術
- 4.4 合金系潜熱蓄熱マイクロカプセルによる新たな蓄熱技術基盤の構想を詳細に

5. まとめ

『潜熱蓄熱』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>